

2020年度 事業報告書

2020年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」2020年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きが見られる。他方経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。

今後、感染拡大の防止策を講じるなかで、「総合経済対策」の着実な執行等による各種政策の効果もあって持ち直しの動きが続くことが期待される。但し、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。

LPガス産業界においては、コロナ禍の影響は4月以降より深刻になり対面の営業活動の自粛等大きな変革を求められている。また、5年前から始まった電力・都市ガスの小売り全面自由化に伴い、エネルギー間の競争が従来にも増して激しくなっている。このような状況にあっても、LPガス産業界は昨年引き続き災害時においても強い力を発揮できるLPガス利用の特性を生かした非常用発電機やGHPなど、都道府県・民間レベルでの常設の動きを目指して事業が展開された。

こうした中、2020年のLPガス用容器の生産実績は、対前年比1.3%減の182.0万本となった。内訳として20kg容器の生産は対前年比0.5%減の67.2万本、主力の50kg以下容器については対前年比0.6%減の109.3万本となった。また、自動車用・その他の高圧ガス用容器を含めた全体の生産実績は、対前年比2.1%減の188.7万本と前年実績下回った。

また、バルク貯槽の生産実績は、対前年比2.6%減の1万4千基と減産となった。

このような状況下で、当工業会は、2020年度事業計画に基づき、以下の事業を実施した。

1. 生産、流通に関すること

会員各社から容器及びバルク貯槽の生産・在庫状況を収集し、需要動向の把握に努めた。

- (1) 容器総生産実績は、1,887千本（前年同期比97.9%）となった。
内訳は以下のとおり。【2020暦年、カッコ内は前年比】

① 10kg以下LPガス用容器	54千本 (80.0%)
② 20kg	672千本 (99.5%)
③ 50kg	1,094千本 (99.4%)
④ 500kg	182本 (60.5%)
⑤ 自動車用容器	9千本 (63.2%)
⑥ その他ガス用容器	58千本 (82.6%)

(2) バルク貯槽生産実績は、14,080基(前年同期比97.4%)となった。内訳は以下のとおり。【2020暦年、カッコ内は前年比】

① 100kg以下	0基 (—%)
② 150kg以下	631" (114.9%)
③ 200kg以下	75" (93.8%)
④ 300kg以下	3,929" (93.7%)
⑤ 500kg以下	4,255" (103.1%)
⑥ 1トン未満	5,190" (94.2%)

2. 溶接容器の技術向上

- (1) 技術委員会を中心に溶接容器及びバルク貯槽の品質保持・向上に関する検討を行った。
- (2) ISO/TC58国内委員会に委員を派遣し、ISO基準の見直し・策定などに協力した。
- (3) 高圧ガス容器規格検討委員会に委員を派遣し、例示基準案作成等に協力した。
- (4) 移動容器規格委員会に委員を派遣し、検査基準の見直し等協力した。

3. 保安の確保と安定供給対策

- (1) 生産物賠償責任保険の更新
容器を起因とした万一の事故による賠償責任に備え、令和元保険年度(令和元年10月1日~令和2年9月30日)の生産物賠償保険を継続付保した。
- (2) 政府の保安対策等への協力
経済産業省産業構造審議会専門委員として、審議会傘下の高圧ガス小委員会での審議に参加し、高圧ガス保安施策の策定・推進に協力した。
- (3) LPガス安全委員会への参画
LPガス安全委員会に会員として参画し、消費者保安体制の強化及び事故防止体制の推進に協力した。

- (4) LPガス容器くず化処理
LPガス容器くず化処理マニフェストの発給依頼のあった認定事業所に対し同マニフェストを提供し、確実にくず化処理に活用した。
認定事業所における2020年の容器くず化処理本数は936千本（前年同期比105.6%）となった。
- (5)バルク貯槽くず化処理工場認定
新規認定事業者の申請はなかった。現在24社。

4. その他の事業

- (1) 関係官庁、関係機関等からの情報提供
経済産業省等の行政機関及び高圧ガス保安協会をはじめとする関係機関・団体からの依頼・情報提供を受け、会員への周知、各種資料の配布を行う等必要な情報提供に務めた。
- (2) 統計等の作成及び情報提供
溶接容器、バルク貯槽の生産統計及び会員名簿等を作成・配布するとともに、工業会ホームページを通じて情報提供を行った。
- (3) 関係団体等との連絡、情報の交換
LPガス関係団体事務局連絡会、鉄鋼製品団体協会会合に参加し、関係業界相互間の情報交換を行った。

5. 会議の運営状況

- (1) 通常総会
2020年5月に第44回通常総会を開催し、2019年度事業報告書案及び収支決算書案等並びに2020年度事業計画書案及び収支予算書案を審議し、議決した。
- (2) 臨時総会
2020年7月、第1回臨時総会を開催し理事の交代について決議。
- (3) 理事会
2020年度は6回の理事会を開催し、総会への附議が必要な事業報告書案、収支決算書案、事業計画書案、収支予算書案、について審議し、議決した。また、各委員会の開催報告に基づく検討の結果、必要に応じ業務執行を決定した。
- (4) 監査
2021年4月に2020年度の収支決算について監査を実施した。
- (5) 委員会活動
 - ①運営委員会

2021年3月に開催し、2021年度の事業計画書案及び収支予算書案について検討を行い、これを作成した。

②技術委員会

2020年度は5回の技術委員会を開催し、溶接容器・バルク貯槽の品質保持を中心とした検討を行ったほか、新型コロナウイルスの各社の実態調査を踏まえその対応について確認等。また、外部委員会出席委員からの報告を基にした意見交換等を行った。例年実施している地方開催はコロナ禍により中止となった。

③容器処理委員会

2021年3月に開催し、容器くず化処理状況、バルク貯槽くず化認定工場等を巡る課題等について意見交換を行った。また、例年11月頃に実施している現地研修会はコロナ禍により中止となった。

6. 庶務的事項

(1) 役員の異動

2020年7月、小林信彦理事から本田和幸理事へ交代。

(2) 委員長の異動

なし

(3) 会員の状況

	2019.3.31 現在	2020.3.31 現在	2021.3.31 現在
正 会 員	6	6	6
賛 助 会 員	26	28	28
バルブ関係	3	3	3
容器処理関係	22	24	24
バルク関係	1	1	1
計	32	34	34

(4) 表彰関係

なし

以上